

地域の文化財 — 八幡村 —

平成30年度資料展

2019年

1月13日(日) ~ 3月21日(木・祝)

多賀城市埋蔵文化財調査センター

本市では、平成 25 年度から市内全域を対象とした文化財調査を行っています。この調査は、江戸時代多賀城市域にあった 13 の村ごとに実施しており、これまで資料化していなかった石造物、棟札や絵馬、人々の信仰にまつわる行事や講、社会組織など、地域の歴史を伝える多くの文化財を確認することができました。

そこで今年度から、地域の特色ある歴史を、文化財調査の成果をもとに旧村単位で紹介することとし、初年度にあたる本展示では、最初に調査を行った旧八幡村を取り上げます。地域に残る多くの資料から、八幡村とそこに暮らす人々の歴史を紹介します。



宮城郡八幡邑天童氏屋敷ならびに家中・足軽屋敷絵図

江戸時代に八幡村を拝領した天童氏の屋敷を中心に、その家臣団が軒を連ねるまち並みが描かれています。



御釈迦講涅槃図

安政 2 年（1855）に、沖区の女性たちが買い求めた涅槃図です。昭和 18 年に開庁した多賀城海軍工廠建設に伴う集団移転で消滅した沖区を偲び、女性たちの子孫によって御釈迦講が結成されました。



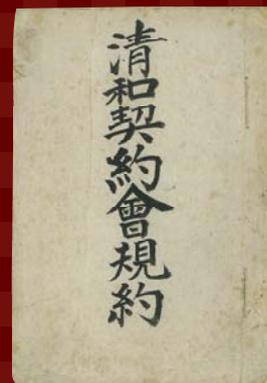
八幡橋南袂

この場所は、かつて八幡川にかけられた橋の南袂にあたります。八幡村の北の入口にあたっており、ムラの境界として多くの供養塔が建てられました。



鎮守嶋観音堂扁額

鎮守嶋観音は、宮城三十三観音の一つに数えられた仏閣で、安産祈願が行われるなど、八幡の人々の信仰を集めました。



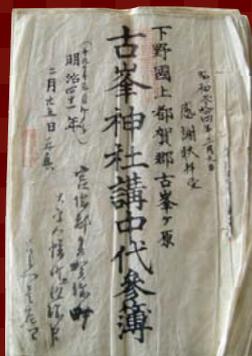
清和契約會規約

清和契約会は、天童家とその家臣の家で構成された相互扶助の組織です。八幡では、天童家を頂点とした階層的な人間関係が築かれていました。



鎮守嶋観音堂に納められたオマクラ

祈願の際の一つを借りて願を掛け、祈願成就の際には借りたものに加え、もう一つ自分で作ったものを添えて返します。



古峯神社講中代参簿

栃木県鹿沼市の古峯神社を信仰する、八幡町組講の代参記録簿です。このほかにも、宮城県美里町の山神社や、山形県の出羽三山など、人々の信仰はムラの外へも向けられました。

多賀城市埋蔵文化財調査センター展示室〔多賀城市文化センター内〕

開館時間 午前 9 時～午後 4 時 30 分

休館日 月曜日（祝日は除く）・祝日の翌日

〒 985-0873 宮城県多賀城市中央 2 丁目 27-1

☎ 022-368-0134

<http://www.city.tagajo.miyagi.jp/shiseki/bunkazai/index.html>

